

# 議会答弁等の進行管理について（R5年12月末現在）

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
<b>1 未着手(2件)</b>							
1	R5年6月定例会	総合政策部	デジタル戦略課	施設の利用予約では、使用料支払いやキャンセルなど窓口に行かなくてはならない。団体登録の更新時に手書きの書類の提出を求められることがある。今後どのような対応を考えているか。	オンライン決済は必要であると認識している。公共施設所管課と協議、課題整理のうえで適切な手法を検討していく。電子化できていない申請書等の様式については、早急に市ホームページで提供できるよう、庁内各課に周知し、手書きの書類を減らしていく。	1 未着手	所管部署と導入における運用面の協議を行い、課題整理を進めていく。申請様式については、可能な限り市HPで公開を行っていくよう関係課に周知する。
2	R5年6月定例会	子ども・未来部	すくすく子育て課	ウッディタウン地区に木製大型遊具などがある子どもたちが身体を動かして遊んで発散したり、集まれる施設が必要と考えるがどうか。	市民病院再編後の跡地における総合的な子育て支援拠点の設置構想の中で、導入の可否を検討する。	1 未着手	木製遊具をウッディタウン地区の子育て拠点に設置できるように予算要求をしている。
<b>2 着手(6件)</b>							
3	R5年9月予算決算常任委員会	総合政策部 政策調整室	秘書広報課	伝わる広報に向け、市民が愛着を持てるような広報誌の愛称をつくってはどうか。	情報発信の方法等の改善の中で、愛称についても検討していきたい。	2 着手	伝わる広報に向け、情報発信の方法を改善する中で、愛称の設定も含め、市民が広報誌に愛着を持っていただけるよう検討している。
4	R5年6月定例会	総合政策部	デジタル戦略課	生活道路など山間部の携帯電話圏外地域の解消について、対策を考えてほしい。	通信事業者に対して県の協力も得ながら協議の場を設け働きかけていく。国補助金の活用や乙原の鉄塔跡の活用検討も含めて、通信事業者の負担軽減を図るなど慎重に協議を進めていく。	2 着手	県及び近畿総合通信局の協力を得ながら、通信事業者との協議を進めていく。
5	R5年6月定例会	総合政策部	デジタル戦略課	公共施設のWi-Fi環境を充実してほしい	不特定多数の人が憩いの場として利用している施設を優先的にWi-Fiの環境整備を行っている。現在12の公共施設で整備が完了している。未整備の施設についても、順次環境を整えていく	2 着手	R5に消防本部にWi-Fi環境を整備する。未整備施設については順次環境整備を行っていく。
6	R4年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	再編統合後の現市民病院の跡地利用について、回復期をはじめとする医療、福祉に特化したゾーンと位置付け、整備を進めることが、市民の賛同を得ることにつながると考えるが、市としての見解を伺う。	回復期機能を有した民間医療機関等を誘致し、在宅復帰等につながる体制を構築する。市休日応急診療センターの移設を検討するとともに、医療・福祉分野を含め市民が安心して暮らせる整備を進めるべく、サウンディング型市場調査を実施しながら、検討を進める。	2 着手	基本構想の策定を完了し、R5～6年度にかけて基本計画を策定することとしている。併せて、R4年12月補正で「現市民病院跡地活用調査事業」を計上したが、事業再開に伴いR5年12月に再度補正し、R6年7月までに現市民病院の跡地活用について調査を進めていく。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
7	R4年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	交通のアクセスは市民の理解を得るためにたいへん重要である。現在のアクセスは最低限守りつつそれ以上の利便性が必要である。乗り換えのないコミュニティバスなども検討すべきと考えるがどうか。	乗り換えのないコミュニティバス等の検討も含めて、例えば、予約型の送迎バス(デマンド交通)の導入や交通事業者等との連携によるバス路線の利便性向上等が考えられるが、ICTを活用した移動や医療との連携等、今後の交通を取り巻く新たな技術革新の動向も見据えながら、主要駅から乗り換えなしでアクセスできる具体的な対策について、関係所管課や交通事業者等関係機関と調整し、令和6年度中に策定する基本計画で示す。	2 着手	基本構想の策定を完了し、R5～6年度にかけて基本計画を策定することとしている。併せて、R4年12月補正で「市内交通影響等調査事業」を計上したが、事業再開に伴いR5年12月に再度補正し、R6年7月までに現新統合病院までの交通アクセスについて、基礎的な調査を進めていく。
8	R5年3月定例会	総合政策部	地域医療推進課	市民病院の再編統合に向けて、R4年12月に基本構想が策定され、今後、新統合病院までの取組が進むと思うが、事前にできることは早い段階から準備が必要ではないか。	今まで以上に医療資源の集約化が必要であり、市議会に順次諮ることになるが、統合先の済生会兵庫県病院と協議を進める中で、令和7年4月を目途に現三田市民病院へ指定管理者制度の導入を進める。	2 着手	R6年3月定例会において三田市民病院事業の設置等に関する条例の改正と指定管理料の債務負担行為上限設定、R6年6月定例会において済生会兵庫県病院への指定管理に関する議決、市民病院職員の済生会兵庫県病院への転籍。
9	R5年3月定例会	総合政策部	地域医療推進課	三田市民病院の統合計画について、建物の整備には国の補助により負担は軽減されるが、将来の大規模修繕等も含めて、三田市の負担が大きくなるのではないか。市の考え方を伺う。	新統合病院の将来における大規模修繕等に係る費用負担は三田市と済生会兵庫県病院との間で、国の繰出金通達の事業主負担を踏まえて、開院までに締結する指定管理に関する基本協定の中で考え方を整理する。	2 着手	三田市と済生会兵庫県病院の間で締結する新統合病院の指定管理に関する基本協定
10	R5年6月定例会	総合政策部	地域医療推進課	R7年度から現三田市民病院に指定管理者制度を導入するにあたり、三田市民病院事業の設置等に関する条例を改正する等、今後の進め方について伺う。	R5年9月市議会定例会において、三田市民病院事業の設置等に関する条例の改正案と指定管理料に関する債務負担行為上限額を設定する予算案を提案する。	2 着手	R6年3月定例会において三田市民病院事業の設置等に関する条例の改正と指定管理料の債務負担行為上限設定等について必要な作業を進めていく。
11	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	3月末に提携した協定と6月議会で議決した協約について	基本協定は現時点において取り組みを止めている。連携協約も現時点で締結していない。市民に周知し、声を聴いたうえで、これらを含む再編統合について適切に判断する。	2 着手	神戸市との連携協約の締結と再編統合の事業の推進
12	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	令和7年度から導入するとしていた指定管理者制度について	現時点において取り組みを止めている。今後、再編統合の方向性について判断するタイミングに合わせて現市民病院の指定管理者制度導入について判断していく。	2 着手	R6年3月定例会において三田市民病院事業の設置等に関する条例の改正と指定管理料の債務負担行為上限設定、R6年6月定例会において済生会兵庫県病院への指定管理に関する議決、市民病院職員の済生会兵庫県病院への転籍。
13	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	白紙撤回を公約にした後の、医師の確保についての案はどのようなものか。	公約に掲げている医師確保助成制度は、既存の医師修学資金貸与制度の見直しや新たな助成制度の創設といったことを含め、効果的制度を研究する中で、医師の確保方策の充実に努める。	2 着手	貸与金額の増額等の制度見直し、新たな助成制度の創設の研究
14	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	医師修学資金貸与制度と選挙公約に掲げる医師確保助成制度導入との違いはなにか伺う。	例えば、修学資金の貸与金額の増額など既存の制度の見直しや新たな助成制度の創設を含め、効果的な制度を研究していく。	2 着手	貸与金額の増額等の制度見直し、新たな助成制度の創設の研究

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
15	R5年12月定例会	総合政策部	地域医療推進課	市民病院の再編統合に関する諸問題について、R7年度から指定管理者制度を導入することができるのか伺う。	R7年度導入を進めてきたが、凍結に伴い条例改正や指定管理料に関する議会提案を見送ってきた。職員へも丁寧に説明する必要があることから導入時期を令和8年度に見直す。	2 着手	R6年3月定例会において三田市民病院事業の設置等に関する条例の改正と指定管理料の債務負担行為上限設定、R6年6月定例会において済生会兵庫県病院への指定管理に関する議決、市民病院職員の済生会兵庫県病院への転籍。
16	R4年9月定例会	経営管理部・地域共創部・まちの再生部	総務課・公共施設マネジメント推進課・協働推進課・都市政策課	サウンディング調査をした案件のなかで、現在、動向が見えない3つの案件の現状はどうか。 【①_フラワータウン駅前倉庫】	当面は、住民、市民団体、民間企業等に貸出しをし、フラワータウンの活力と新たな魅力創出に寄与する活動に利用していくが、駅前の至便性の良さを活かしたフラワータウン再生に寄与するような利便施設の導入には、現状有姿の状態では限界があることから、来年度以降、施設の解体に向けた取組を開始していく。	2 着手	R5年度に、施設解体に向けた設計業務にとりかかる。
17	R4年9月定例会	経営管理部・まちの再生部	総務課・公共施設マネジメント推進課・都市整備課	サウンディング調査をした案件のなかで、現在、動向が見えない3つの案件の現状はどうか。 【②_旧市民病院跡地】	当跡地の後背にある旧看護師寮などの施設は、早ければ来年度以降に解体工事に着手できる見込みである。以降は、三田駅周辺の賑わい創出や、地域経済の発展に寄与する公募要件等を整理し、事業者公募に繋げていく。	2 着手	R5年度に、施設解体に向けた設計を取りまとめ、R6年度に解体工事を実施する。
18	R4年9月定例会	経営管理部	総務課・公共施設マネジメント推進課	サウンディング調査をした案件のなかで、現在、動向が見えない3つの案件の現状はどうか。 【③_加茂市有地】	募集に向けて底地整理が課題であったが、残す課題である敷地内を横断している母子大池水系の農業用水路を、今年度移設することから、来年度には、売却に向けた募集を実施する。	2 着手	R5年5月末に完了した母子大池水系の水路移設工事を受けて、R5年度中に区域内道路の整備、さらには公募要件を整理した後、売却先事業者を公募する予定であったが、現場の敷地内にある関電柱の移設、NTT柱の撤去、それらに共架されている不明架線の調査等に想定外の時間を要したためR6年度に繰越し、公募までを実施する。
19	R元年6月定例会	経営管理部	人事課	女性の活躍推進に向けた女性の士気を高める取組について メンター制度の取組について	女性職員のみならず、すべての職員が働きやすい職場環境を目指して、今年度新たに横断的なつながりの強化を図る「しゃべり場」の実施や三田市人材育成推進員(ACT STAFF)を結成し、様々な職員同士が悩みや思いを共有し、より良い働き方を提案し、メンター制度についても現在の制度を補完していく。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の中で、女性職員の活躍推進取組として、まずは、女性のメンター制度やロールモデルの仕組みの構築について検討し、将来的に男女に関係なく実施できる制度の策定に取り組む。
	R3年9月定例会	経営管理部	人事課	職員のエンゲージメントを高める環境づくりについて	職員同士が組織を越えて、新たなつながりを持てる仕組みとしてメンター制度を導入する。また、特定のテーマに対して挑戦した成果に対して正当に評価する仕組みづくりに取り組む。		
20	R3年9月定例会	経営管理部	人事課	産休・育休制度取得への不安が解消できる環境づくりについて	職場とのつながりを意識し、安心して育児休業を取得することができるよう、「育休支援プラン」を策定し、職場復帰後のキャリア形成へ繋げる取組を進める。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組の中で、誰もが安心して子育てしながら働き続けられる職場環境となるよう、育休支援プラン制度を構築し、男性の育児休業取得を促進する。また、多種多様な雇用形態を活用した育児休業代替職員の確保を行う。



番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
21	R3年9月定例会	経営管理部	人事課	職員のエンゲージメントを高める環境づくりについて	特定のテーマに対して挑戦した成果に対して正当に評価する仕組みづくりに取り組む。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組として、若手職員PTの参加、評価反映の仕組みを検討する。また、該当資格を決め、取得した職員への評価への反映と資格を活かした職員配置を検討する。
	R3年12月定例会	経営管理部	人事課	人事評価と給与との連動について	区分の細分化のほか、積極性の高い取組実績を処遇に反映させる新たな評価基準の導入を進める。		
	R4年3月定例会	経営管理部	人事課	優秀な職員がやりがいをもてる積極的な登用について	評価区分の細分化や積極性の高い取組実績等の評価基準を新たに設定し、処遇の反映に繋げる仕組みを導入する。		
22	R4年6月定例会	経営管理部	人事課	繁忙期の農家の人手不足解消策として、市職員の副業を農業支援目的に限り認めてはどうか。	市職員のスキルアップやモチベーション向上を目的に職員の人材育成の観点から仕組みを構築していく。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組の中で。職員の人材育成の観点から、職員の副業の基準を明確化するとともに、農業分野等における地域貢献制度を構築し実施する。
23	R4年6月定例会	経営管理部	人事課	新たな事業が日々増え続ける中で、現事業を削減や簡素化する考えはあるか。	民間活力の有効活用や組織間連携を円滑化し、市役所のデジタル化を加速させる。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組の中で。定型業務の積極的なアウトソーシングを行うことにより、正規職員が定型業務を行わない効率的な組織運営を行う。また民間専門人材を積極的に登用することにより、専門性を確保するとともに、既存の行政の考えに捉われない柔軟な発想を取り入れた行政運営を行う。
24	R4年9月定例会	経営管理部	人事課	技術職員の採用を含めた人材育成について、どのような取り組みを行っていくのか。	働き方改革の中で、技術職の積極的な採用のため、「奨学金制度の創設」や「指定校制度の導入」など大学等と連携した取り組みについて、来年度から、順次進める。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組として、大学等で土木や建築を専攻しており、将来三田市役所での勤務を希望する学生を対象に奨学金制度を導入に実施する。
25	R4年12月定例会	経営管理部	人事課	職員の給与に連動した人事評価について	「昇給」について、人事評価結果のAランクからCランクまで差をつけることについて、財政への影響を慎重に見極めながら、適切な手法で取組を進める。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組の中で、人事評価結果の「昇給への反映」を、AランクからCランクにおいて差をつけることで、より一層、能力や実績に応じた給与制度となるようR6年4月に向けて検討を進める。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
26	R5年3月定例会	経営管理部	人事課	災害対策をはじめとする職員の専門知識の向上への取り組みについて	引続き大学や専門研修機関への積極的な派遣と各職場でのOJTによる技術継承を図りながら、職員の潜在的能力を活用した人員配置を行う。 また、『働き方改革推進プラン100』の取り組みの中で、専門資格取得への評価反映及び資格を活かした人員配置を行う。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組の中で、評価の対象となる資格決め、資格を取得した職員への反映と資格を活かした人事配置を推進していく。 特に、社会福祉士等福祉関係の資格は、これからのニーズも踏まえ、人事評価による処遇反映や、活躍できる環境を整備する。
27	R5年3月定例会	経営管理部	人事課	若手職員の登用及び女性活躍推進について	『働き方改革推進プラン100』の取り組みの中で、女性職員や若手職員がロールモデル的職員との交流などロールモデルの推進と、「キャリアメンター」「フィールドメンター」など幅広いメンター制度の導入を行う。	2 着手	『働き方改革推進プラン100』の取組の中で、女性活躍推進としてロールモデル的職員との交流として「女性職員交流会」や民間企業等との人事交流などを行い、また若手職員の育成においても、ロールモデル的職員の指導・助言を得ることができる環境整備を行っていく。 あわせて、幅広い観点からのメンター制度を導入していく。
28	R4年9月定例会	経営管理部	危機管理課	高齢者のみの家庭や子どもがいる家庭、障害者のいる家庭に対して家具転倒防止器具の設置促進として設置補助や助成制度などの検討を進めて頂きたい。	家具転倒防止器具設置の支援について早急に検討を進める。	2 着手	市民に対して家具転倒防止器具の設置の必要性について、アンケートを実施しニーズ調査を実施中である。
29	R5年9月定例会	経営管理部	財政課	大規模な設備更新や大改修を進めるうえで財政計画は必要であり、すぐに作成されなければならない。田村市長の公約実現のためには、財源の見通しが必要不可欠であるが、長期財政収支見通しはいつ公表されるか。	「中期財政収支見通し2023」作成時の前提条件を見直し、新たな施策等を精査したうえで、この先20年程度の長期財政収支見通しをR6年2月頃をめどに作成し、公表していきたい。	2 着手	新年度予算編成とあわせて、今後3か年の財源確保のためのロードマップを作成中であり、それらを包括したうえで、20年程度の長期財政収支見通しの作成を進める。
30	R5年12月定例会	経営管理部	公共施設マネジメント推進課	公共施設に附帯する駐車場について、有料化を検討してはどうか。	R7年度の公共施設使用料の見直しに際して、駐車場の有料化の適否を判断していく。	2 着手	各施設の駐車場の実態把握、公共交通からのアクセス性や施設が持つ役割や機能、整備費用と収益との費用対効果などを総合的に判断する。
31	R4年12月定例会	地域共創部	協働推進課	仮称コミュニティ条例の策定スケジュールについて	条例制定も視野に入れる中で条例の必要性や内容について整理を進めている。	2 着手	附属機関での「協働のまちづくり」の議論をもとに検討する。
32	R2年9月定例会	地域共創部	文化スポーツ課	郷の音ホールの大小ホール空調費については、新型コロナウイルス感染症予防対策として施設利用時に空調設備の利用が義務付けられ、施設使用料が相対的に高額であり文化団体等の活動を圧迫している。ついては、文化活動に対する支援として空調使用料の減免あるいは料金区分の細分化等空調使用料の負担を軽減させられないか。	近隣他市のホールの多くには減免規定がある。郷の音ホールは、芸術文化交流の拠点として位置づけられており、利用者拡大のためにも空調使用料や減免規定の見直しが必要と考えている。今後、料金体系改定を検討するなかで考えていきたい。	2 着手	市全体での公共施設の使用料見直しに併せて空調使用料の取り扱いや減免の考え方を盛り込むべく検討を開始している。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
33	R4年3月定例会	子ども・未来部	すくすく子育て課 健やか育成課	学校外教育でのバウチャー制度の有用性について	市のニーズ調査を行うとともに、国の子育て家庭に対する経済的支援策を見たうえで、市としての必要性について研究していく。	2 着手	子どもの貧困実態調査によるニーズ把握は一定できている。今後は、国の子育て家庭に対する経済的支援策を見たうえで、市としての対応を研究する。
34	R元年12月定例会	子ども・未来部	健やか育成課	「土曜日は毎週開所」、「長期休暇時（夏休み等）の開所時間の繰り上げ」など、女性の活躍を支援するため、児童クラブの制度を多様な勤務形態にも対応できるものに拡充できないか。	アンケート調査での保護者ニーズの結果を踏まえ、まずは、長期休暇中の開所時間の繰り上げに取り組む必要があると考えており、令和5年夏休みからの8時間開所を目標として体制等を検討する。	2 着手	入所保留児童の解消、送迎対策、人員の確保などの優先すべき諸課題を整理しながら、実現に向けて取組を進めていく。
	R4年6月定例会		健やか育成課	土曜日開所（毎週）及び夏休み等長期休暇の開所時間延長は検討するのか。			
35	R4年12月定例会	子ども・未来部	健やか育成課	放課後児童クラブは、働く保護者に寄り添った入所要件の緩和、長期休業中の受け入れ時間の繰り上げが必要と考えるがどうか。	今後も保護者のニーズを適切に把握し、優先順位をつけながら取り組むこととしており、第一歩として、令和5年夏休みからの8時間開所を目標として体制等を検討する。	2 着手	入所保留児童の解消、送迎対策、人員の確保などの優先すべき諸課題を整理しながら、実現に向けて取組を進めていく。
36	R5年12月定例会	共生社会部	健康増進課	注意喚起の観点から帯状疱疹の周知・啓発について市の考えを問う。	病気を知って正しく理解することが、早期治療、早期軽快にも繋がることから、市民に分かりやすい周知啓発に努める。	2 着手	他市町の情報発信の方法なども参考に、帯状疱疹に関連する情報を市ホームページに掲載する。
37	R2年6月定例会	共生社会部	地域福祉課、障害福祉課、いきいき高齢者支援課	認知症高齢者・障害者の権利を守るため、成年後見制度の利用促進が必要である。経済的負担が制度利用の妨げとならないために、貯蓄や収入の状況によっても支援を受けられるよう助成を拡充すべき。	高齢化の進展に伴い成年後見制度のニーズは増加する。経済的理由により利用が妨げられないように配慮し、他市の状況を見ながら支援制度について検討したい。	2 着手	本市のニーズや他市の状況を踏まえ、支援制度のあり方について検討する。
38	R4年9月定例会	共生社会部 福祉共生室	障害福祉課	障害福祉サービスを利用していない障害のある方への状況調査について、今後のフォローをどう考えているのか。	対象者の再抽出や、訪問支援の継続・フォローなど、より適切な手法や具体的な取り組みの検討を進め、引き続き相談支援体制の充実に努める。	2 着手	R5年度中に対象者の抽出、訪問を含め具体的な手法を検討し、取組を実施する。
39	R5年12月定例会	共生社会部	障害福祉課	失語症者に対する意思疎通支援者の派遣事業の実施について、市の考え方を問う。	意思疎通支援者の派遣事業については、失語症者の社会生活等において、コミュニケーションの円滑化や社会参加促進につながる取り組みであり、来年度の事業実施について、検討する。	2 着手	来年度中の事業実施に向け、関係機関と調整等を行う。
40	R4年9月予算 決算常任委員会	まちの再生部 都市政策室	都市政策課	深田公園の円形劇場の活用について、現在の進捗状況は。周辺への騒音対策が課題と推察するが、まずは、静かなイベントなどを検討してはどうか。	フラワータウン再生アクションプランのなかで、地域住民の理解と協力を得ながら実施に向けて検討する。	2 着手	フラワータウン再生アクションプラン推進委員会のなかで、企画検討を進めている。
41	R4年9月予算 決算常任委員会	まちの再生部 都市政策室	都市政策課	長期未着手の都市計画道路は、早期に廃止の手続きを進めるべきではないか。	将来的に整備の必要性がない路線の抽出作業を進める。見直し時期は、県下一斉見直しのタイミングとするが、時期が未定であり、市独自の見直しも検討する。	2 着手	R5年度より市独自の見直しを進めている。R5年11月に「三田市都市計画道路網見直しガイドライン」を策定し、三田市都市計画道路網見直し業務委託により、長期未着手となっている都市計画道路について、その必要性・実現性を検証し、都市計画道路の存続、変更又は廃止の方針の検討を進めている。



番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
42	R5年3月定例会	まちの再生部	都市政策課	つつじが丘の再生に向けた準備は、来年度から始まるのか。	つつじが丘地域に合った再生に向けた体制づくりをするための手法の検討を進めており、令和5年度の早い時期に取りまとめる。	2 着手	つつじが丘地域におけるまちの再生に向けた取り組みを進めるべく、住宅の改築や改修状況の調査を実施し、住宅の老朽化状況の分析・把握を実施した。また、まちづくりの体制づくりや地域ニーズを把握するための手法を検討するため、先進的なまちづくりを実施している他都市の視察、まちづくりの手法を学ぶための勉強会などを開催する準備を進めている。
43	R5年6月定例会	まちの再生部	都市政策課	三田市フラワータウン再生ビジョンについてビジョン策定から1年が過ぎたが、再生に向けた変化について、市の考えを伺う。	公共施設の新たな利活用の推進、イベントや社会実験の実施、住民、民間事業者のまちづくりへの参画促進など、様々な取り組みを継続的に行う。	2 着手	フラワータウンの公共施設や屋外空間を利用したイベントなどの社会実験を住民、民間事業者とともに実施し、まちへの影響・効果等の分析を進めており、今後のまちづくりの方針の検討に繋がる取り組みを進めている。
44	R5年6月定例会	まちの再生部	都市政策課	住環境の形成を目標に、フラワータウン内の多くのマンションが適正に管理されているか客観的に判断するマンション管理計画認定制度の導入予定について、市の見解を伺う。	三田市マンション管理適正化推進計画を今年度中に策定し、適切な管理計画を持つマンションとして市が認定することで「マンション管理計画認定制度」を活用することが出来るようにする。	2 着手	R6年1月に「三田市マンション管理適正化推進計画」を策定予定。
45	R5年6月定例会	まちの再生部	都市政策課	R2年のマンションの管理の適正化の推進に関する法律の改正を受け、マンション管理適正化推進計画を三田市でも作成すべきと考えるが市の見解を伺う。	管理不全マンションの未然防止や、マンションの質の向上、まちの魅力を高める観点から、今年度中に「三田市マンション管理適正化推進計画」を策定する。	2 着手	R6年1月に「三田市マンション管理適正化推進計画」を策定予定。
46	R4年9月予算決算常任委員会	まちの再生部	交通まちづくり課	高齢者運賃助成制度について、基準日を4月1日のみとするのではなく、基準日は半年に1回程度とし対象者への周知連絡機会を増やすことを検討してはどうか。	高齢者運賃助成制度については持続性や利便性向上も含め、外部委員会を設置し高齢者の外出支援のあり方を検討する中で協議していく。	2 着手	R5年度、外部委員で構成される「高齢者外出支援のあり方に関する懇話会」を設置。高齢者運賃助成制度の見直しの方向性及び見直し案について検討中。
	R4年9月予算決算常任委員会	まちの再生部	交通まちづくり課	高齢者運賃助成制度についてICOCAの導入は検討しないのか。	高齢者運賃助成制度については持続性や利便性向上も含め、外部委員会を設置し高齢者の外出支援のあり方を検討する中で協議していく。	2 着手	
47	R3年6月定例会	まちの再生部	道路河川課	都市計画道路三輪下田中線の今後の計画及び横山天神線の延伸計画について	都市計画道路両路線の取組については、現在事業中の道路事業の進捗状況や完成時期等を見ながら、着手時期を見極める。	2 着手	現在検討中の都市計画道路の見直し状況や実施中の道路事業や駅前周辺の大規模事業の進捗や完成時期を見ながら、着手時期の判断を行う。
48	R3年9月予算決算常任委員会	まちの再生部	道路河川課	福島地区の区画整理事業により、市道東野上福島線の交通量が増えていることから道路照明が設置できないか。また、幅員が狭小であり離合が難しい。退避所の設置が必要と考えるがどうか。	退避所設置について設置箇所の調査を行い実施に向け取り組む。照明については、防犯灯、道路照明など可能な手法を検討する。	2 着手	R4年度にソーラー式照明を付設した待避所を1カ所設置済。R5年度も同様の待避所を1カ所設置予定。
49	R4年6月定例会	まちの再生部	道路河川課	ラウンドアバウト整備に向けた考え方について	前回調査から5年が経過し、その間、関西学院大学の学部増設、R7年4月に学生寮の開寮など、学生の通学環境等に変化が見込まれることから、再度、交通量調査を行うなど、引き続き調査研究を進める。	2 着手	R7年4月の関西学院大学学生寮の開寮後に、改めて当該交差点の交通量調査を実施し、R7年度中に整備の可否について判断を行う。
50	R5年3月予算決算常任委員会	まちの再生部	道路河川課	新三田駅の駐車場に関して、自動二輪の方は屋外に止めることになっているが、屋根を整備する計画は今後考えられないか。	雨がっぱ等着脱できるぐらいのスペースの屋根の設置に向けて検討する。	2 着手	自動二輪駐車スペースの一部に屋根を設置する工事を実施中。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
51	R5年6月定例会	まちの再生部	道路河川課	踏切内点字ブロックについて	歩行者通行量や周辺施設の状況等を踏まえ障害者団体の意見も伺いながら、対策が必要な踏切を検討し、鉄道事業者と安全対策実施に向けた協議を始める。	2 着手	対策が必要な踏切の抽出を行っている。
52	R5年9月定例会	まちの再生部	道路河川課	道路管理について、パトロールや美化活動を組み合わせた(仮称)「キッピーロードサポーター制度」の導入を検討してはどうか。	現在実施している「道路の管理保全活動に関する協定」を締結している団体に意見を伺いながら、官民連携の仕組みづくりについて検討する。	2 着手	他市の事例等調査開始
53	R4年9月定例会	まちの再生部	公園みどり課	Park-PFIによる公園の弾力的運用について	Park-PFIの導入について、サウンディング調査などにより民間事業者の参入意欲などの実態を把握する。	2 着手	R5年8月事業化発案サウンディング調査の事業者募集をしたところ、1事業者から応募があった。 R5年12月に事業者からのヒアリングを行い、検討を進める。
54	R4年12月定例会	まちの再生部	公園みどり課	花のまち三田の推進について 年間を通じて、市内全域で目につく場所に花を植えることで、市民に花への愛着を持ってもらえると考えるが、市の考えを伺う。	高齢者から子供まであらゆる世代が一緒になって、身近な環境を花で美しく彩られる取り組みを進め「花と緑があふれるまち三田」のまちづくりを目指す。 どのような取り組みができるのか、近く、庁内での横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、検討を進める。	2 着手	新体制となり、方向性について検討を行う。
55	R5年3月予算決算常任委員会	まちの再生部	公園みどり課	有料公園の車いす、AEDの設置について ・下青野公園、三田谷公園への車いすの新たな設置 ・中央公園へのAEDの追加設置	・車いすが未設置の有料公園については、指定管理者と協議し、設置を検討する。 ・AEDの追加設置については、指定管理者と協議し、追加設置を検討する。	2 着手	・車いすの設置について設置済。 ・AEDの追加設置について関係部署と協議済、R5年度内に設置予定。
56	R5年6月定例会	まちの再生部	公園みどり課	市街地の公園整備と管理について 小寺遊園地の周辺は三田市の歴史を回遊できる数多くの施設があるが、散策した方がくつろげる場所がない。また、供用開始から遊具の更新がされていない。 歴史あるまち並みにあった公園整備と管理について伺う。	小寺遊園地は、散策コースからの景観への配慮や、長寿命化計画に基づき複合遊具への更新を実施する。歴史あるまち並みに立地する特性や特徴を生かした公園整備とした。	2 着手	定期点検や日常管理に加え、有資格者による精密点検を年1回実施し、利用者の安全性を確保していく。 なお、次期策定する長寿命化変更計画において、遊具更新の実施を検討していく。
57	R5年6月定例会	まちの再生部	公園みどり課	城山公園ランニングコースの維持管理について ランニングコースは雨水等の影響で洗堀などの傷みが生じやすい状況であり、排水設備などの整備について伺う。	日々の点検に努め、痛みのひどい箇所については排水対策について検討し利用者に配慮した修繕に努める。	2 着手	指定管理者に対して適正管理に努めるよう再指導済。 路面補修及び雨水対策の実施に向けR6予算要求中。
58	R5年6月定例会	まちの再生部	公園みどり課	視覚障害のあるランナーの練習施設の安心・安全について 城山公園ランニングコースで練習の際、伴走者からコース情報をランナーへ伝えながら走っているが現在のコース状況では安心・安全に走ることができない。安心して走ることができるコースの安全対策について伺う。	日々の点検に努め、痛みのひどい箇所については排水対策について検討し利用者に配慮した修繕に努める。 さらに、視覚障害のあるランナーや伴走者の意見を聞きながら、適正な維持管理に努める。	2 着手	指定管理者に対して適正管理に努めるよう再指導済。 指定管理者に対して視覚障害のあるランナーや伴走者の意見を聞き取るよう指示済。 路面補修及び雨水対策の実施に向けR6予算要求中。



番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
59	R2年3月予算 決算常任委員 会	まちの再生 部	環境創造課	聖苑使用料の12歳以上の金額が他市と比べて高いので見直してはどうか。	R2年度が見直しの時期になるのでそれに合わせて検討する。	2 着手	R7年度予定の全庁的な使用料見直しに合わせて検討する。
60	R5年6月定例 会	まちの再生 部	環境創造課	特定外来生物であるオオキンケイギクを自宅で植えることのないよう正しい知識の啓発とその一環として駆除活動イベントの開催してはどうか。	区、自治会を通して個人宅での栽培については駆除をお願いするなど注意喚起するとともに、今後、毎年開花時期の5月ごろに駆除活動イベントを開催する。合わせてクリーンデーでの駆除もお願いする。	2 着手	R6年5月の駆除活動イベント実施に向け、開催場所の選定、予算確保など具体的な準備を進めている。
61	R5年9月定例 会	まちの再生 部	環境創造課	野外焼却について市が刈草回収する事は止めて元の状態に戻してはどうか。	野外焼却の苦情件数地区数は減少傾向にあったが、令和4年度再び増加傾向を示すとともに、通報地域も全市域に拡大していることから、今後も刈草回収事業を継続する必要あり。刈草回収する農業者の負担軽減のため回収場所を増やす等の対応を検討する。	2 着手	刈草回収の負担軽減に向けて刈草回収実施地域の意見の聞き取りをおこなっている。
62	R5年6月定例 会	まちの再生 部	里山のまち づくり課	木の駅プロジェクトを成功させるためキックオフイベントの開催が有効。また、イベント開催が保全活動グループの担い手発掘に繋がる。市の考えを伺う。	キックオフイベント開催については、若年層の新規加入が少なく会員の高齢化が進んでいる保全活動団体の担い手発掘につながる事が期待できることから、今年度中の開催を予定している。	2 着手	当該イベントの開催に際しては、里山保全活動団体等の意見・考え方を反映させる必要があることやさあふの森(市立有馬富士森林公園)で開催される様々なイベントと合同開催することで、より多くの集客が期待できるため、R6年2月に各団体との情報交換・連携体制を構築し、R6年5月～7月頃、さあふの森での開催を目標に準備を進める。
63	R5年6月定例 会	まちの再生 部	クリーンセ ンター	プラスチックごみの分別収集の開始時期について伺う。	プラスチックごみの分別収集は、喫緊の課題と認識している。可能な限り早期に分別収集を開始する。なお、分別収集・選別・圧縮・梱包等については既存の民間事業者の施設を活用する。	2 着手	プラスチックごみの分別収集、ストックヤード・選別・梱包施設整備、再商品化計画策定にかかる調査・分析を行いプラスチックの資源循環体制構築に必要な施設規模や条件整理を進める。
64	R5年6月定例 会	まちの再生 部	クリーンセ ンター	高齢者等のごみの出し支援について、戸別収集をどう進めるのか伺う。	戸別収集については、現状の自助、共助による支え合いを尊重し、維持することを前提に、どのようなことができるのか検討を進める。	2 着手	対象者の範囲、申請から戸別収集に至る手順・手続き、ごみ排出方法・収集手順などの基本的な制度設計を完了したところ。今後、実施に向けた具体的な課題整理を進める。
64	R5年6月定例 会	まちの再生 部	クリーンセ ンター	ごみ出し困難な高齢者・障害者の生活支援として、安否確認を含めた戸別ごみ収集が必要。市の考えを伺う。	ご自身でごみ出し困難な独居高齢者等を対象に安否確認を含めたごみの戸別収集実施に向け具体的な検討を進める。なお、自助、共助活動を維持するため自己負担導入も検討する。		
65	R4年9月定例 会	消防本部	消防本部警 防課	三田市が被災し、緊急消防援助隊を要請する事態となった場合に円滑な受入れ体制が執れるような受援計画の策定や受援訓練が実施されているのか。	見直した受援計画の実効性を確認するために年1回程度は指揮本部の立上げや部隊運用等の訓練を実施し、緊急消防援助隊の受入体制に万全を期す。	2 着手	R6年2月を目途に、指揮本部立上げ訓練を実施予定。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
66	R5年3月定例会	学校教育部	学校再編課	上野台中・八景中の統合について 用地の確保はどうなっているのか伺う。 関係する市民からの問いが多くあり、住民へ説明してもらおうとともに、今後の計画についても提示してほしいと考えるが、市の見解を伺う。	外部調査機関へ委託し、より専門性のある客観的な観点による調査を実施し、その報告を受ける中で、まずは内部で絞り込んでいく。開校に向けての計画については、建設地により、大きく時期などが変わることから、建設地の決定とあわせ、改めて年次的計画等を検討し示していく。 新設校用地の取り組みをはじめ、市全体の学校再編の状況等について、広報さんだやホームページなどを活用し、市民の皆さまにお知らせしていく。	2 着手	外部調査機関からの報告を受け、候補地決定に向け、土地利用にかかる関係機関等と協議、相談を進める。開校に向けた年次計画等は建設地決定に合わせ検討し、然るべき段階において、市民の皆さまにお知らせしていく。
	R5年3月定例会	学校教育部	学校再編課	新年度予算で上野台・八景中学校の新設校の候補地調査業務の費用500万円が計上されているが、ある程度候補地の目安がついているのか。	R4年5月に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、新設校の候補地の選定について、重点的に取り組みを進める中で、一定、候補地を4か所程度に絞り込みを行ったが、選定にあたっては、専門的な見地から、更に慎重に検討を進めるため、外部専門機関に委託し調査を行っていく。		
	R5年12月定例会	学校教育部	学校再編課	上野台・八景中の地域の方のほとんどが情報をつかめておらず、統合するということが何年も前に周知されてから、進捗がわからない。	候補地を決定し公表できる段階となれば、当該校区の保護者や地域住民、市民の皆さまへ、適時に情報発信していく。		
67	R5年12月定例会	学校教育部	学校再編課	上野台・八景中学校の統合新設校の構想について、現在の考えを聞く。	今後、具体的な教育目標や教育内容をまとめるとともに、子どもたちの多様な教育ニーズにも柔軟に対応できる施設のあり方について、構想としてまとめていく。	2 着手	新統合中学校の基本構想について、R6年度に策定すべく準備を進めている。
68	R元年9月予算 決算常任委員 会	市民病院事 務局	総務課（市 民病院）	医師の働き方改革について	「医師業務負担軽減推進委員会」等において、働き方改革や業務改善等について検討を行う。	2 着手	令和6年4月に向け出来る限りA水準（時間外労働時間年間960時間以下）に抑えられるよう勤務体制の整理を行っている。
<b>3 実施済(9件)</b>							
69	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	市民病院の再編統合に関する最終判断までのスケジュールについて	地域医療市民会議を10月から市内9か所で計10回を予定している。市民アンケート、医療関係者とのフォーラムやSNSの情報発信を進めるなど、市民の命を最優先に考え適切に判断したい。	3 実施済	地域医療市民会議（市内9か所10回）に計712名の参加と見学。市民アンケートに33名回答。11月23日医療関係者との地域医療フォーラムに201名参加。動画配信（市長単独、医療従事者や医療関係者の対談、開催告知、フォーラムの様子等）。
70	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	市民病院の再編統合に関して市民の意見聴取・アンケートの実施とスケジュールは。	地域医療市民会議を10月から市内9か所で計10回を予定している。市民アンケート、医療関係者とのフォーラムやSNSの情報発信を進めるなど、市民の命を最優先に考え適切に判断したい。	3 実施済	地域医療市民会議（市内9か所10回）に計712名の参加と見学。市民アンケートに33名回答。11月23日医療関係者との地域医療フォーラムに201名参加。動画配信（市長単独、医療従事者や医療関係者の対談、開催告知、フォーラムの様子等）。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
71	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	所信表明で示された「適切に判断したい」は何時になるのか。	地域医療市民会議を10月から市内9か所で計10回を予定している。市民アンケート、医療関係者とのフォーラムやSNSの情報発信を進めるなど、市民の命を最優先に考え適切に判断したい。	3 実施済	地域医療市民会議（市内9か所10回）に計712名の参加と見学。市民アンケートに33名回答。11月23日医療関係者との地域医療フォーラムに201名参加。動画配信（市長単独、医療従事者や医療関係者の対談、開催告知、フォーラムの様子等）。
72	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	時間的猶予がない中で、具体的にいつまでにどのようなステップを踏んで市民病院の再編統合についての結論を出すのか、今後の問題解決の道筋を聞く。	地域医療市民会議を10月から市内9か所で計10回を予定している。市民アンケート、医療関係者とのフォーラムやSNSの情報発信を進めるなど、市民の命を最優先に考え適切に判断したい。	3 実施済	地域医療市民会議（市内9か所10回）に計712名の参加と見学。市民アンケートに33名回答。11月23日医療関係者との地域医療フォーラムに201名参加。動画配信（市長単独、医療従事者や医療関係者の対談、開催告知、フォーラムの様子等）。
73	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	市民病院再編統合についての適切な判断時期について伺う。	地域医療市民会議を10月から市内9か所で計10回を予定している。市民アンケート、医療関係者とのフォーラムやSNSの情報発信を進めるなど、市民の命を最優先に考え適切に判断したい。	3 実施済	地域医療市民会議（市内9か所10回）に計712名の参加と見学。市民アンケートに33名回答。11月23日医療関係者との地域医療フォーラムに201名参加。動画配信（市長単独、医療従事者や医療関係者の対談、開催告知、フォーラムの様子等）。
74	R5年9月定例会	総合政策部	地域医療推進課	今後のスケジュールについて市長の考えを伺う。	地域医療市民会議を10月から市内9か所で計10回を予定している。市民アンケート、医療関係者とのフォーラムやSNSの情報発信を進めるなど、市民の命を最優先に考え適切に判断したい。	3 実施済	地域医療市民会議（市内9か所10回）に計712名の参加と見学。市民アンケートに33名回答。11月23日医療関係者との地域医療フォーラムに201名参加。動画配信（市長単独、医療従事者や医療関係者の対談、開催告知、フォーラムの様子等）。
75	H28年9月定例会	経営管理部	危機管理課	災害受援体制についてどのように対応するか、又その訓練も必要ではないか。災害時応援協定の民間企業との連携訓練が重要ではないか。	具体策を定めた災害受援計画の策定及び訓練の実施を検討する。多く企業が訓練に参加できるよう調整する。	3 実施済	R6年1月に受援計画を策定済み。
76	R5年6月定例会	地域共創部	農村再生課	鳥獣被害対策実施隊の活動における安全対策について	実施隊への活動依頼は、区・自治会と農会の連名によるものとし、捕獲活動日や緊急連絡先等については、事前に地域と情報共有を図る。	3 実施済	活動依頼の書式を見直すとともに、地域との情報共有のプロセスについて整理を行い、全市農会長会で案内した。
77	R5年6月定例会	まちの再生部	審査指導課	アスベスト調査及び除去に対する市独自の補助制度を創設すべきではないか。	不特定多数の方が利用される延べ面積300㎡以上の小規模民間建築物の調査を早急に完了させ、対象があれば必要に応じて創設の検討を行う。	3 実施済	アスベスト調査対象となる不特定多数が利用する小規模民間建築物の調査完了。除去対象となる建築物なし。
<b>4 実施しない(0件)</b>							